



# かがやく浜の子

令和元年度 10月号

令和元年度重点目標 気づき 考え 行動する子「自分から みんなへ」

## 準備の大きさが 達成感の大きさに

話題が偏ってしまい恐縮ですが、今月もスポーツの話題です。ラグビーワールドカップが開催され、日本チームの活躍に大きな盛り上がりを見せています。私はラグビーにほとんど興味がなかったのですが、今は夢中になってテレビ観戦しています。

代表チームには失礼ながら「アイルランドには、大差で負けるのでは・・・?」「スコットランドに勝つのは難しいだろう」と思っていました。ところが、この学校だよりを書いている10月15日(火)現在、日本チームは、1次リーグを全勝で突破し、見事決勝トーナメントに進出しました。選手の試合後のインタビューでは、ネガティブな私とは違って、「この時のために全てをささげて準備してきました。最後しっかり勝ちきってベスト8に行くというのが自分たちの最高の目標になっていたんで、それが達成できて最高です!(福岡選手)」

など、各選手から、自信にあふれた言葉が、次から次へと発せられることに驚かされました。

今年だけでも、240日の合宿を組んで強化に取り組んできたということも、インタビューの中で知りました。「これだけの準備してきた」という裏付けが、自信へとつながったのだと想像できます。そして、「ONE TEAM」という仲間との絆が強まったのだと思います。

さて、2学期も10月になり、1年間の折

り返し地点を過ぎました。9月には、5年生が観音山野外学習を行いました。スローガンは「協力・責任・笑顔」でした。5年生は野外学習のために、役割や担当を決めたり、活動の内容やコースを考えたりと、準備をしてきました。当日はその成果を生かし、一人一人が気づき考え行動し、責任を果たすことができました。活動の中で最も大変なのは、冒険ラリー(山の中の自分たちが設定した数キロのコースを、一日中、班の仲間と協力して歩く活動)なのですが、コースを短縮するなどの救済措置を必要とする班は一つもなく、仲間と助け合って踏破できました。当日までの準備から実際の活動までを通して、5年生は絆を深め、また一回り大きくなったように感じました。

今後、10月には「6年生修学旅行」、11月には「浜の子走ろう会」、12月には「浜の子発表会」と大きな行事が控えています。準備の量と質は、ラグビー日本代表のそれとは大きく異なりますが、目的に向かって準備をすることの大切さは変わりません。努力と協力を持って準備に取り組み、仲間と達成感を得ることを期待しています。

※

2学期になり、運動場に草が目立ち始めたころ、子どもたちに草取りのボランティアをお願いしたところ、6年生が中心となって、多くの子が参加してくれました。重点目標の「気づき 考え 行動する子」が具体的に表れた姿として、嬉しく思いました。

(文責 校長)

ビクトリーロード  
(日本ラグビー応援ソング)  
ビクトリーロード  
この道  
ずっと 行けば  
最後は 笑える日が  
くるのさ  
ビクトリーロード

